



「一つのマジックを習得するには1か月かかり、人前でお見せできるようになるためには3か月かかります。上手にマジックを見せるためには、トリックだけでなく手先の動きや目線、リズムなども必要になってくるんです。」と大瀧さん。

子どもの頃からの夢だった マジックでみんなに夢を 見せてあげたい

大瀧清治さん (狭山マジッククラブ会員)



HITO

皆さんは、毎年5月に開催される「ふれあい広場」のステージで、色とりどりの何本もの紐を掛け声とともに1本につないだり、何も入っていないはずの袋からキラキラ光る大きな花が出てきたり...というマジックを披露してくれる男性を見たことはありませんか。子どもたちが目を輝かせてじっと見つめる中、リズムミカルな動きでボンボンといくつものマジックが出てくるそのステージは、本当にお見事です。

この男性が大瀧清治さん、狭山マジッククラブとともに大井奇術団の会員でもあり、大井町でもいろいろなイベントに出演しています。私がマジックを始めた理由は、子どもの頃からの夢だったんです。10年ほど前にふれあい広場に行ったときマジッククラブの皆さんが出演していたのを見てその夢を思い出し、入会



昨年のふれあい広場にて。子どもたちは不思議そうに大瀧さんの手先を見つめます。

したのがきっかけです。とおっしゃる大瀧さん、ふれあい広場がマジックとの出会いで、今ではそのステージでみんなに夢を分けてくれます。

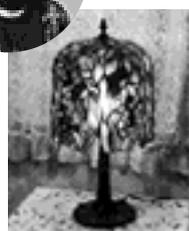
ふれあい広場のステージでは大技が中心ですが、本来カードやコインを使うテーブルマジックがお得意の大瀧さん、これから習得したい技は、質問によくテレビなどで見る、人が消えたりする華やかで派手なマジックですね。車椅子でも動ける範囲でできたらいいですね。とのこと。また、いろいろな場面で周囲の皆さんにお世話になることが多いですが、少しでも私が役に立てることがあればお手伝いしたいと思っています。マジックをお見せできるような催しがあったら呼んでいただけると嬉しいですね。ともお話ししてくださいました。これからはその技に磨きをかけ、もっと素敵な大きな夢を見せてくれることですね。

私の趣味

ステンドグラス
山角かよ子さん(水野)



カラーでお見せできないのが残念です。



10年前に展覧会で初めてステンドグラスを見て虜になり、自分でぜひ作ってみたいと思って教室に入りました。旅先などできれいな花を見ては、あ、これを図案化してみようかと考えるなど、見るものが全てステンドグラスに結びついているようで、とても充実しています。家に遊びに来た友人がとても気に入ってくれて差し上げたこともあります。ステンドグラスの魅力はその輝きです。明るいところで見たときと、部屋を暗くし、光を入れて見たときの違いがとても不思議で、何とも表現しがたい美しさを放ちます。今はランプが中心ですが、この夏くらいには窓ガラスにはめ込めるような大作にも挑戦しようと思っています。皆さんも機会があったらぜひステンドグラスをご覧になって、不思議な輝きを楽しんでみてください。